

社協が行う 事業所連絡会への支援や 協働での地域福祉活動

ヘルパー事業所連絡会 (へ連会)

市内で事業運営するヘルパー事業所に対し、障害のあるかたの地域生活を支援する人材の育成、事業運営のフォロー、ケアマネジメントへの提案力を高めるための取り組みを行っています。



生活援助サービス従事者研修への講師派遣



ボランティアフェスティバルに参加

児童発達支援・放課後等デイサービス 連絡会(放希星)

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所に対し、事業運営のフォローや障害児支援の質の向上のための研修、交流の機会を企画しています。



世話人研修会を開催

グループホーム 世話人等交流会

グループホームは、障害のあるかたの地域での生活を支援する重要な社会資源です。そのグループホームでの支援の質や、支援者のモチベーションの向上のため、研修・交流の機会を企画しています。

「ひだまり」にお礼の手紙をいただきました



私達が貝塚に来たのは6年前の春、コロナで緊急事態宣言がされた時でした。まだ2歳と生後4ヶ月の息子たちを連れて、知り合いもない土地に来て不安いっぱいでした。そんな中見つけた子育て支援センターひだまり。子供たちがのびのび遊べる場所と出会い、久しぶりにたくさんのおもちゃで遊ぶ姿を見てほっとしたのを覚えています。

先生方も温かく迎えてくれて、貝塚に来て初めて家以外の自分の居場所を見つけた気がしました。それからひだまりに行くことが日課となり、たくさんママたちとも出会う事ができ、子育てで悩んでいるのは私だけじゃないんだ！と励みになりました。用事がある時やリフレッシュしたい時は、一時預かりを利用して自分の時間も作る事ができました。

3人目も生まれ、ずっと子供たちの成長を見守ってほしかったのですが、今年の春に貝塚を離れることになり、孤独だった私たちに居場所を与えてくれたひだまり、3人の子供たちのたくさん笑顔と元気を与え、心も支えてくれた先生方にはとても感謝しています。

ここは私が貝塚で子育てをしていく中でなくてはならない場所でした。「ひだまり」のように与えてもらった温かさを忘れずに、新たな場所でも頑張っていきたいです。

I・K

活動 しています

私が移送サービスに関わったきっかけは、家族に不幸があったことでした。自分に原因があるわけではありませんが、何か人の役に立つことをすれば、気持ちが落ち着くのではないかと考えていました。ちょうどその頃、社協の移送サ

移送サービスボランティア 田原 秀樹



ビスの募集があり、「これだ」と思い、活動を始めたのがきっかけです。移送サービス事業は初めての試みだったため、まず希望者5名で1日かけて福祉有償運送運転者の講習を受講しました。その後は月

みんなの笑顔も運ぶボランティア

に2〜3回程度、利用者の方を買い物などへ送りしました。車内や玄関先でも「お世話になってます」といった言葉が返ってくるのが嬉しかったです。また、利用者に協力金として一回につき500円をいただけています。ボランティア活動ではありますが、それがたいと感じています。それから2年ほど経った頃、地域密着型のデイサービス

の送迎を担当することになりました。もともと人の役に立つ仕事がしたいと思っていたため、自分にぴったりだと感じました。その後、介護タクシーに必要となる研修を受講し、現在はデイサービス利用者の方を病院へ送迎しています。長年移送サービスに携わる中で、さまざまな地域に行く機会があったこともあり、その経験が大いに役立っています。現在は月に1〜2回程度の送迎となっています。笑顔を見られるように、もう少し頑張っていきたいと思っています。

地域で広がるふれあいの輪の紹介

ふれあい喫茶

貝塚市内のふれあい喫茶は平成14年頃から始まり、現在は61か所(令和8年4月1日現在)まで広がっています。

運営は地域の実情によって、町会・自治会、老人クラブ、福祉委員、民生委員などがボランティアとして関わり、メニューや時間帯も「モーニングサービス」を中心に「ティータイムにおやつとコーヒー」など様々です。

地域で人と人との関係が年々希薄になる中で、コミュニティの再生に大きな役割を果たすふれあい喫茶の運営を、社協として小地域ネットワーク活動の一環として支援したいと考えています。

様々な工夫

楽しくお話ができる空間づくりとして、家庭で育てた花をテーブルに飾ったり、手作りの季節感あふれるデザートを提供したり、健康体操、クリスマスなどのイベントを行うなど様々な工夫をしています。

楽しむことの大切さ

「やらなければいけない活動」でなく「やりたい活動」として、運営しているボランティアと参加者がともに楽しむことが、喫茶に新しい工夫を生み出します。楽しいことには自然に人が集まり長続きします。



ふれあい喫茶で手編みのマフラーづくり



笑顔と会話でにぎわふふれあい喫茶

いきいきサロン

いきいきサロンは、高齢者、障害者、子育て中のかたなどを対象とし、町会・自治会や福祉委員会が町会館や集会所などの身近な場所で、地域住民、ボランティア、参加者が協働して運営する交流・仲間づくりを目的に様々な内容で実施しています。

アコーディオンで歌を楽しもう 加神町会さつき会

令和8年3月17日(火)にさつき会(老人会)約20人が町会館に集まり、ボランティアによるアコーディオン演奏に合わせ、参加者みんなで歌を歌いながら過ごしました。途中、会話を楽しみながらおやつを食べ、最後に輪投げで盛り上がるなど、楽しいひと時を過ごしました。



アコーディオンの演奏に合わせて歌うみなさん

ボランティア募集!!



地域社会に役立つ
ボランティア活動を目指して
「できる人が、できるときに、できることを」

● ボランティアグループ enjoy ~楽しむ

「enjoy ~楽しむ」では、「ちょっと手伝ってほしいわ」という身近な困りごとへのお手伝いやケア帽子(主に抗がん剤治療の副作用による脱毛に対処するために使用される帽子)の作製、学校の清掃活動など、ボランティア活動を通じて支えあいを育み、「できる人が、できるときに、できることを」をモットーに現在約40名で活動しています。

● 私たちの仲間になりませんか

「少しでも地域の役に立ちたい」、「日頃の楽しみにつながるがしたい」など、私たちと一緒に活動してくれる仲間を募集しています。

● ケア帽子作製に必要な生地を集めています

ケア帽子は、善意あるみなさまからの寄付による生地でメンバーが1枚ずつ手作りし、必要なかたへ届けています。

「enjoy ~楽しむ」では、皆様からタオルや日本手ぬぐいなど、ケア帽子作製に必要な生地の寄付をお待ちしています。

ご協力いただけるかたは、貝塚市社会福祉協議会へお問い合わせ下さい。

問合せ ☎072-439-0294

活動の詳細は「enjoy ~楽しむ」のホームページをご覧ください▶



子育て支援センター「ひだまり」

つどいのひろば

就学前の親子が遊べる共有スペースを月曜日から金曜日まで開放しています。

つどいのひろばでは、親子同士の交流や、子どもの発達や成長を見守りながら、育児相談などを行っています。

一時預かり

就学前の子育てをしている世帯を対象に、ママやパパがリフレッシュをしたい時や、就労、きょうだいの検診・行事参加などの理由で、一時的にお子さまをお預かりして子育て支援を行っています。

貝塚市が発行している子育て応援券が利用できます。

対象児童 貝塚市内に在住の生後6ヶ月から就学前までの乳幼児

実施日 月曜日から金曜日(土日・祝日・年末年始・休館日は利用できません)
※講座やイベントがある時は、お受けできない場合もあります。

保育時間 午前9時から12時までと午後1時から4時まで

利用料金
●3歳児未満…1時間 500円
●3歳児以上…1時間 400円
※15分を越えた場合は、利用料の半額を加算します。
※事前に登録が必要です。

詳しくは、お問い合わせください。☎072-433-7064

「enjoy ~楽しむ」主な活動紹介

あしぼ

あしぼとは、アシストボランティアの略です。高齢者やひとり暮らしの方のちょっとした困りごとのお手伝いをしています。

例えば…

重たい物を運んだり、FAXのインクや電球の交換、固い蓋を開けたり、話し相手になったり etc…



FAXのインク交換

蓋開け(オープナー)の作製

ペットボトルや瓶の蓋を開ける道具と滑り止め(ストッパー)。名称は「あけ・敷」と言い、困っている方にお届けしています。

あしぼの依頼がペットボトルの蓋開けが多かったため、作製することになりました。



滑り止め(名称「あけ・敷」)

ケア帽子の作製

手作りで作製したケア帽子(名称は「enjoy帽」)は、病院等に寄付しています。



ケア帽子作製風景